

高槻市市制施行
80周年記念

TAKATSUKI
MASUDA

高槻市・益田市姉妹都市交流

石見神楽

特別公演

令和5年

10/21 | 土 |

開場 16:00

開演 17:00

20:00 頃終演予定

会場：高槻城公園芸術文化劇場
南館トリシマホール

〒569-0077 大阪府高槻市野見町 6-8

全席指定

【大 人】 前売 3,000 円 《一般》

【小 人】 前売 1,000 円 《中学生以下》

未就学児無料 ※豚上鑑賞に限る

チケットの
お求め

e+ イープラス <https://eplus.jp>

高槻城公園芸術文化劇場 [窓口にて受付]
10:00 ~ 17:00 ※月曜休館 (祝日の場合は翌日)

[チケット発売日] 2023 年 9 月 1 日 (金)

イープラスはこちら



出 演 / 益田市石見神楽神和会

主 催 / 益田市都市交流協議会 共催 / 益田市

後 援 / 高槻市・高槻市都市交流協会

企 画 / (一社) MASUDA カグラボ

お問い合わせ

益田市観光交流課 (0856-31-0331)



益田市石見神楽神和会

石見神楽とは

明治以降、島根県益田市内で崇敬の篤い氏子達が神職から神楽の伝統を受け継ぎ、会をなしている。昭和四十五年に大阪万博に招聘され、その知名度が一気に全国へと波及することとなり、現在も世界・全国各地への公演を積極的に行う。石見神楽の各会、団体の発展や継承、後継者育成等を目的として集い、平成四年に「益田市石見神楽神和会」として市内九団体に発足。その後、市町村合併を期に十四団体に。歳末助け合い石見神楽共演大会を毎年開催、ほか数多くの市外県外公演に加え、近年はサウジアラビア・アメリカ南部・中米五ヶ国での海外公演を行う。現在、十一団体が活動しており、日本の伝統芸能として石見神楽の普及に努めている。

島根県西部の石見地域で演じられる神職神楽で、その由来は古く平安末期から室町時代に石見一円で祭事に併せ舞っていたものとされます。江戸時代には出雲佐陀神楽が、歌舞伎や能の所作と融合させた神話劇の神能を演ずるようになり、爆発的に石見に波及され演劇化されていきました。その後、明治の法改正により、その土地の人々が神楽を演舞するようになると、活発な石見人の気性そのままに勇壮な八調子とよばれるテンポになるなど、改革も活発化。神事でありながらも演芸的要素が濃く、ストーリーも明解、舞もお囃子も激しく、胸のすくような爽快さと勇壮さがあるのが特長です。令和二年「神々や鬼たちが躍動する神話の世界」石見地域で伝承される神楽」として日本遺産に認定。

塩祓い SHIOHARAI

舞殿・舞台を清め神様の降神を促す神事的な舞いであり、奉納神楽では必ず始めに舞われる神楽です。

塵 輪 JINRIN

第十四代仲哀天皇は異国から飛来する塵輪という悪鬼に悩まされる国民の為に家臣の高麻呂を連れ、自ら退治する。二神二鬼の激しい立ち回りが見どころの人気演目です。

頼 政 YORIMASA

毎夜御殿の上を覆う黒雲にて悩まされ、病気の床に伏された時の帝に怪物退治を命じられた源頼政は家臣・猪早太を連れ、怪物の住処とする東三条ヶ森へと向かう。源頼政の鶴退治を武勇伝として描かれた演目です。

八岐大蛇 YAMATANO-OROCHI

高天原を追放された須佐之男命は出雲の国斐伊川の悲しき物語を聞き、大蛇に悩まされる人々を救うため自ら大蛇に立ち向かう。須佐之男命の勇壮な立ち回りや大蛇の迫力のある激しい芸に目が離せない石見神楽人気 No.1 の演目です。

令和5年

10/21 | 土 |

開場 16:00
開演 17:00
20:00 頃終演予定

会場：高槻城公園芸術文化劇場
南館トリシマホール

大阪府高槻市野見町 6-8

全席指定 [大 人] 前売 3,000 円《一般》
[小 人] 前売 1,000 円《中学生以下》

未就学児無料
※膝上鑑賞に限る

チケットの
お求め

e+ イープラス <https://eplus.jp>
高槻城公園芸術文化劇場 [窓口にて受付]
10:00 ~ 17:00 ※月曜休館 (祝日の場合は翌日)
[チケット発売日] 2023年9月1日(金)

お問い合わせ

益田市観光交流課 (0856-31-0331)

イープラスはこちら



神楽グッズ
特産品販売
同時開催